創造性を追求する
株式会社 TYK

2025
環境報告書

経済産業省　第9回ものづくり日本大賞

TYK　水素センサー

優秀賞受賞

水素センサー

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

TYKのSDGsへの取り組み

Contents

会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

環境経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

- 経営理念/企業姿勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 環境理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- SDGs への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

環境マテリアリティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

- TYK 環境マテリアリティの特定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 気候変動対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 循環型社会実現への貢献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

環境データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

- CO2 排出削減の取り組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 廃棄物排出量削減の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 水使用量削減の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

環境への配慮（製品づくり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

- 環境法令の遵守・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

- 健康経営の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 地域社会との共生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 環境問題への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

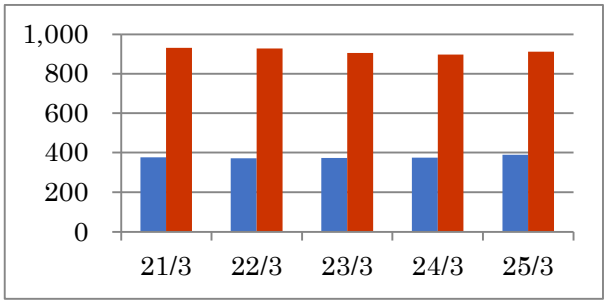
事業展開の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

会社概要

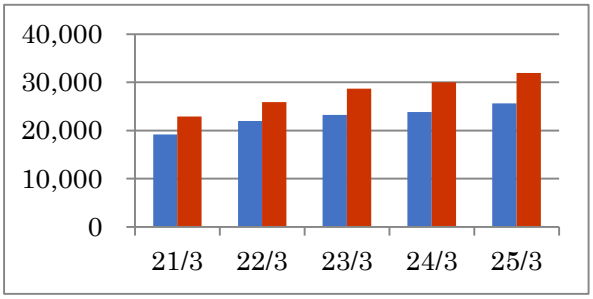
社　　名　株式会社 TYK　英：TYK Corporation
本部所在地　〒507-8607
岐阜県多治見市大畑町 3-1
TEL：0572-22-8151（代表）
URL：http://www.tyk.co.jp
本社所在地　〒108-0075
東京都港区港南 2-11-1
TEL：03-6433-2888（代表）
創　　立　1947 年（昭和 22 年）2 月 5 日
年　　商　連結 319 億円　単体 255 億円（2025 年 3 月）
資 本 金　23 億 98 百万円
従業員数　連結 911 名　単体 389 名
事業内容　耐火煉瓦その他耐火物の製造及び販売
営 業 所　国内 14 ヶ所　海外 11 ヶ所

◆本社外観

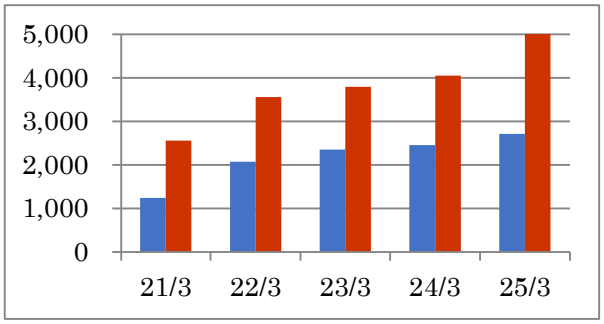
◆従業員数（人）　単独　連結



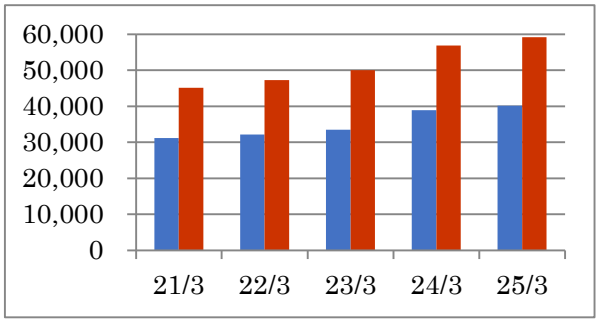
◆売上高（百万円）　単独　連結



◆経常利益（百万円）　単独　連結



◆総資産額（百万円）　単独　連結



◆ネットワーク

ごあいさつ

地域社会に、国際社会に貢献する企業。それが世界市民、TYK の使命です。

山と海そんな豊かな自然と、勤勉な日本人の国民性の中で、TYK グループは育まれてきました。TYK グループの歴史は、「先端技術へのチャレンジとお客様へのひたむきな貢献」の歴史であります。そして、我々が常に抱いている思いは、「仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げる」ということです。お陰様で、多くのお客様、取引会社様を持つことができ、皆様に育てられてここまで来ることが出来ました。

現在、世界は、政治状況、経済状況、産業動向等すべてにおいて激動の時代です。我々の頭の中には、国境の概念はありません。世界の優れた人材を糾合し、更に「先端技術へのチャレンジとお客様へのひたむきな貢献」を追及して参ります。

そのために 2 つの現場「我々のものづくりの現場」と「お客様に我々の商品を使っていただく現場」を大切にしていきたいと考えております。そして、我々は過去にとらわれず、未来に向かって自分達を変えて行くことに躊躇しません。

お陰様で、我々には「夢」を大切にする社風が培われています。夢を実現するためには、大きなエネルギーとたくましい精神力とが必要ですが、我々はその夢を実現した時に得られる大きな喜びと深い感動を知っています。

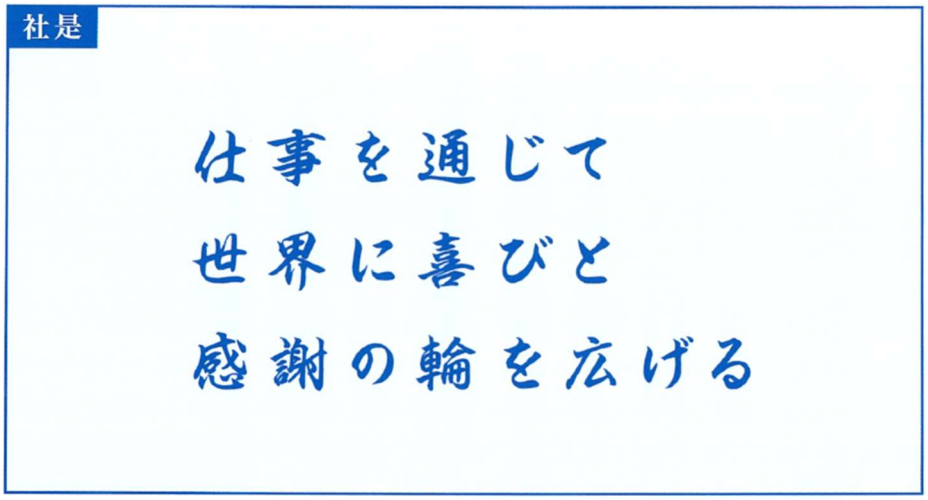
いま、私たちが直面している大変革のうねりは、いいかえれば新たな夢の波紋の拡がりです。我々はこれからも、「よりよい製品とサービスを、よりローコストに、よりスピーディーに」をモットーに、皆様と喜びを分かち合える様、夢の実現にチャレンジして参ります。

株式会社 TYK　代表取締役社長

牛込伸隆

環境経営

●経営理念/企業姿勢



新しい技術へのチャレンジと、お客様への誠意、感謝。
二つのスピリッツで、TYK は新たな歴史を拓きます。

品質基本理念

わたしたちは人間尊重をもとに、たえまない革新を通じ、
お客様に満足・感動していただける、
最高の品質と価格とサービスを提供し続けます。

購買基本方針

TYK グループは、購買活動の推進にあたって、すべてのお取引先様と良きビジネスパートナーとして、相互理解と信頼関係に基づき、以下の購買基本方のもと、公正・誠実に活動してまいります。

- 公正な競争によるコストダウン
- 取引先との共存共栄を旨とすること
- 情報収集の触覚となること
- 既存の取引先を尊重すること
- 常に取引条件の改善を心掛けること
- 常に日常業務の合理化を心掛けること
- 常に身辺を清潔に保ち謙虚な気持で業務に当ること

購買部 CSR 基準

サプライチェーン全体に対する人権・労働問題の未然防止や是正対策などへの取り組み強化の観点から、仕入先様に対しても当社 CSR ガイドラインにつきまして、趣旨のご理解と実践をお願いしております。

＜労働＞

- 事業活動に関わる全ての人々の人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働を行わない
- 均等な雇用機会・公正な労働条件を提供、安全で健康的な労働環境を維持・向上し、差別は行わない
- 最低賃金、超過労働等各国該当法令等を遵守して従業員に給与を支払う

・ 職場での健康増進活動や疾病予防の為の指導などを通じ、従業員の健康づくりを支援する

＜安全衛生＞

・ 誰もが安心して働けるよう、職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努める
・ 現地法規に基づき、安全衛生に関する要求事項を遵守する仕組みを構築し、従業員に周知徹底する
・ 危険性のある労働を把握、危険性を撲滅・軽減する取組を継続し、指導・教育にてその回避に努める
・ 労働者に対して清潔衛生な環境を提供し、健康を阻害するような環境を排除する

＜環境＞

・ 環境との調和ある成長を目指し、事業の全ての領域にてゼロエミッションを目指す
・ 各国の環境関係法令を遵守し、環境保全活動を推進し、継続的な改善を行う
・ 環境負荷物質の適正管理に取り組み、危険な物質の管理を徹底し規定に沿った廃棄をする
・ 温室効果ガスの排出、汚染水排出等に対する基準と指針が明確になっている

＜倫理＞

・ 各国・地域の法令並びにそれらの精神を遵守する
・ コンプライアンス徹底の為の、方針や体制、行動指針・通報制度、教育等の仕組みを整備し実施する
・ 自社が保有或いは自社に帰属する知的財産権等が第三者に侵害されないよう保護し、注意を払う
・ 営業秘密などの、自社の機密情報を厳重に管理し、その利用を適切に行う
・ 法令などで規制される技術や物品の輸出入に関して、明確な管理体制の元に適切な処理を行う
・ 取引に関連する者（サプライヤー・顧客・従業員等）全員の個人情報を保護する仕組みを構築する
・ 私的独占、不当な取引制限、不正な取引方法、優越的な地位の濫用等違反する行為を行わない
・ 政治献金、寄付、接待、贈答、金銭の授受、供与、反社会的な団体との付き合いは行わない

●環境理念

当社は、環境についての理念である環境基本理念と毎年度更新となる環境方針を制定し、それに基づき環境へ向き合い、全員参加で取り組んでいます。

環境基本理念

株式会社 TYK は地球環境を保全することによって、
人類社会が永続的に発展することに貢献していきます。

2025 年 環境方針

① 環境汚染防止：危険物流出防止、爆発・火災防止、震災対応
② 産業廃棄物排出量の継続削減：廃棄物削減、原料歩留向上
③ 二酸化炭素総排出量の継続削減（カーボンニュートラルへの挑戦）
④ 環境ビジネスの展開：ダントツ製品の開発、TYK-NBM の展開
⑤ 法規制及び当社が同意するその他の要求事項の順守
⑥ 廃棄物の再資源化：顧客・社内廃棄物の商品化・社内利用
⑦ SDGs への取り組み

●SDGs への取り組み

SDGs とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015 年 9 月に国連で採択された 2030 年までの国際開発目標。17 の目標と 169 のターゲット達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、途上国及び先進国で取り組むものです。

SDGs の考え方

TYK グループは 1947 年の創業以来、世界中の高温・高熱産業を支える機能性耐火物とセラミックスのリーディングカンパニーとして社会に貢献してまいりました。

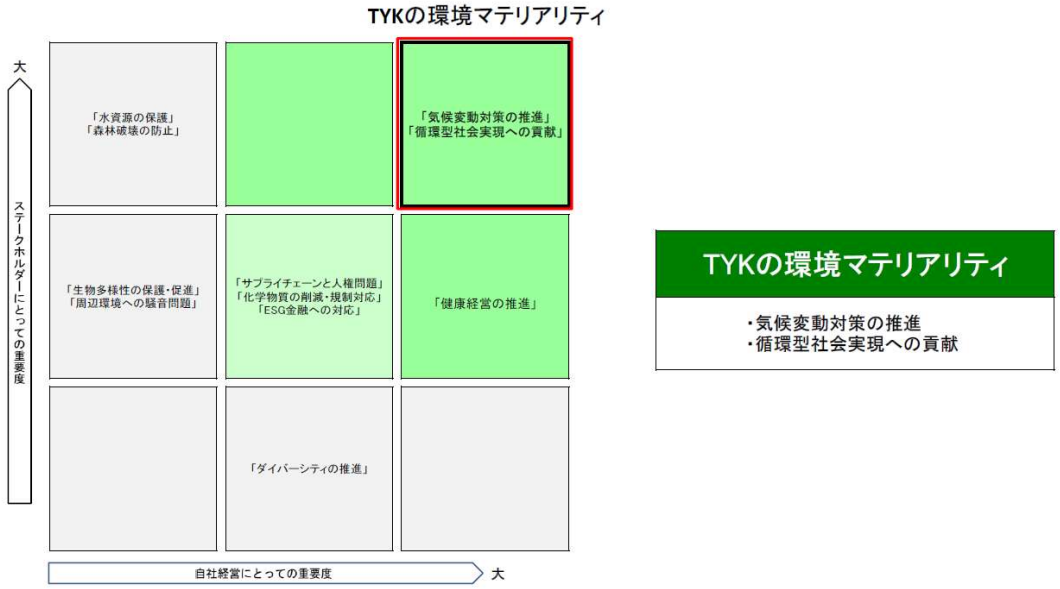
私たちは SDGs が世の中に広まる以前から「仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げる」「株式会社 TYK は、地球環境を保全することによって人類社会が永続的に発展することに貢献していきます」「私たちは人間尊重を元に、絶え間ない革新を通じ、お客様に満足・感動していただける最高の品質と、価格とサービスを提供しつづけます」を理念として掲げており、これらは「誰一人取り残さない」「持続可能な」社会を目指す SDGs に通じるものであると考えます。

TYK グループは今後とも、仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げるため、革新的な技術を土台として世界に貢献するセラミックス・耐火物メーカーを目指し、人類社会の永続的な発展に貢献するため、さらなる発展・成長を実現して参ります。

環境マテリアリティ

●TYK 環境マテリアリティの特定

株式会社 TYK は、顕在化している社会の課題に対し、取り組むべき環境マテリアリティ（重要課題）として「気候変動対策の推進」および「循環型社会実現への貢献」を特定しました。「気候変動対策の推進」「循環型社会実現への貢献」は、近年特に深刻化が進む、社会的な注目度の高い課題といえます。当社は主力事業である耐火物等の生産において、CO2 排出量の削減や、限られた資源である原料の有効利用、廃棄物の削減や再資源化を促進し、「脱炭素社会」や「循環型社会」といった社会的要請が大きい課題に対して、様々なステークホルダーとの協働を通じて取り組んでいきます。

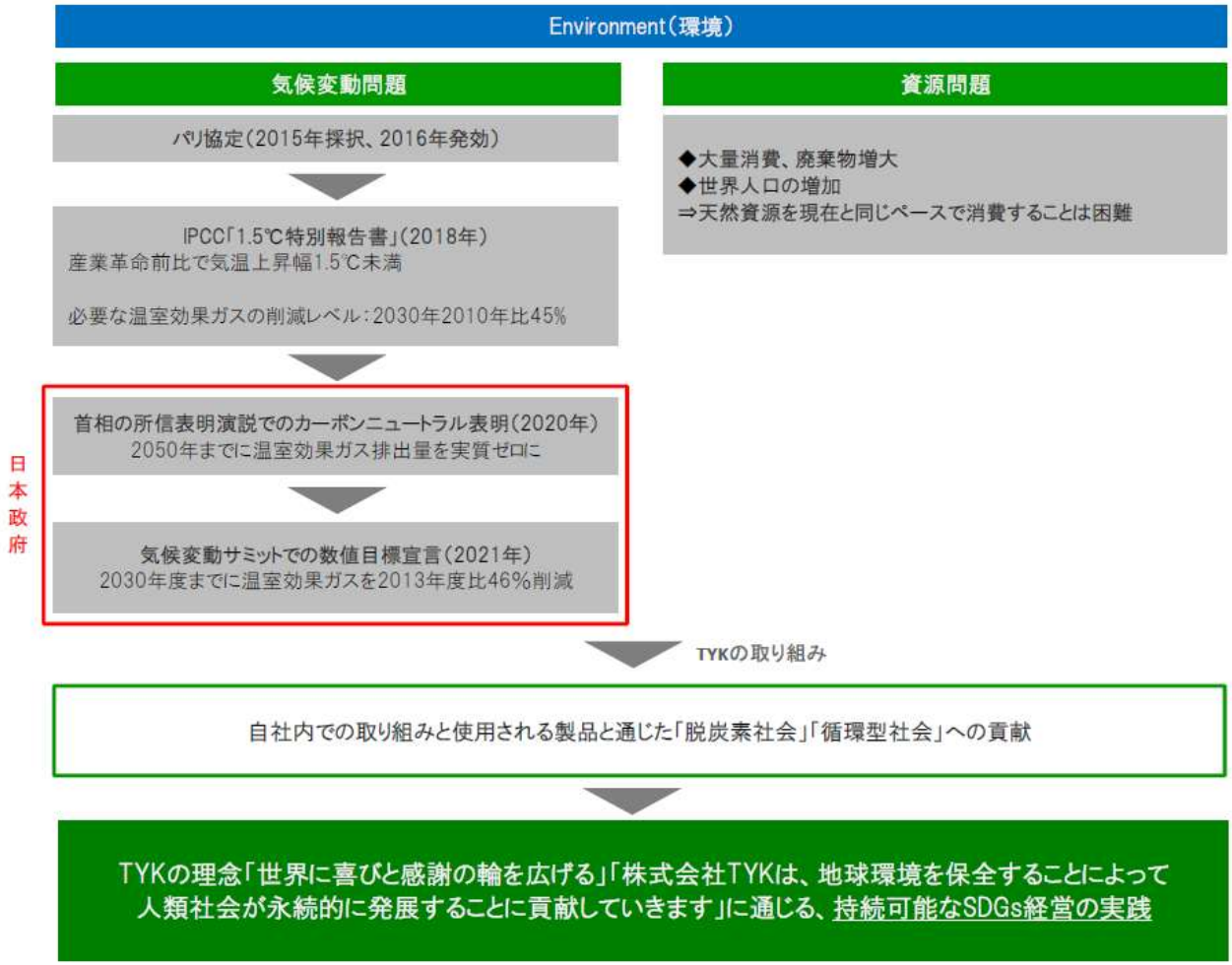


●気候変動対策の推進

気候変動問題については、地球全体で気候変動を食い止めようとする動きが加速しており、人間の活動による温室効果ガス排出量と地球の温室効果ガス除去量のバランスが取れた社会を目指す「ネットゼロ社会」を実現しようとする動きが急速に進んでいます。2015 年に国連で採択され、2016 年に発行されたパリ協定の流れを受け、2018 年に IPCC（気候変動に関する政府間パネル）により発表された「1.5℃特別報告書」では、産業革命前から比較して、2050 年までの気候上昇幅を 1.5℃未満に抑える必要性と、2030 年の温室効果ガス排出量を 2010 年比で 45%削減、2050 年で実質ゼロにする必要性が提唱され、世界中が達成のために動き出しています。我が国においても、2020 年 10 月に菅首相（当時）の所信表明演説で、温室効果ガス排出量を 2050 年までに実質ゼロとする「カーボンニュートラル」の実現を目指す方針が宣言されました。また、2021 年 4 月には気候変動問題に関するサミットにおいて、2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%削減するという目標を宣言しています。このような目標実現のため、企業にも積極的な対応へ大きな期待が寄せられており、生存・繁栄のため気候変動対策の推進による適応が必須であると考えます。

●循環型社会実現への貢献

近年、大量消費とそれに伴う廃棄物の増大といった問題が深刻化しており、2050 年には世界の人口が 90 億人を超えると予測される中、天然資源などを現状のペースで消費し続けることは不可能であるとされています。企業としても限りある資源を有効に活用し、消費と廃棄のペースが持続可能なものとなるように抑制を進め、循環型社会の実現に貢献することが極めて重要であると考えます。



環境データ

●CO2 排出削減の取り組み

CO2 排出量

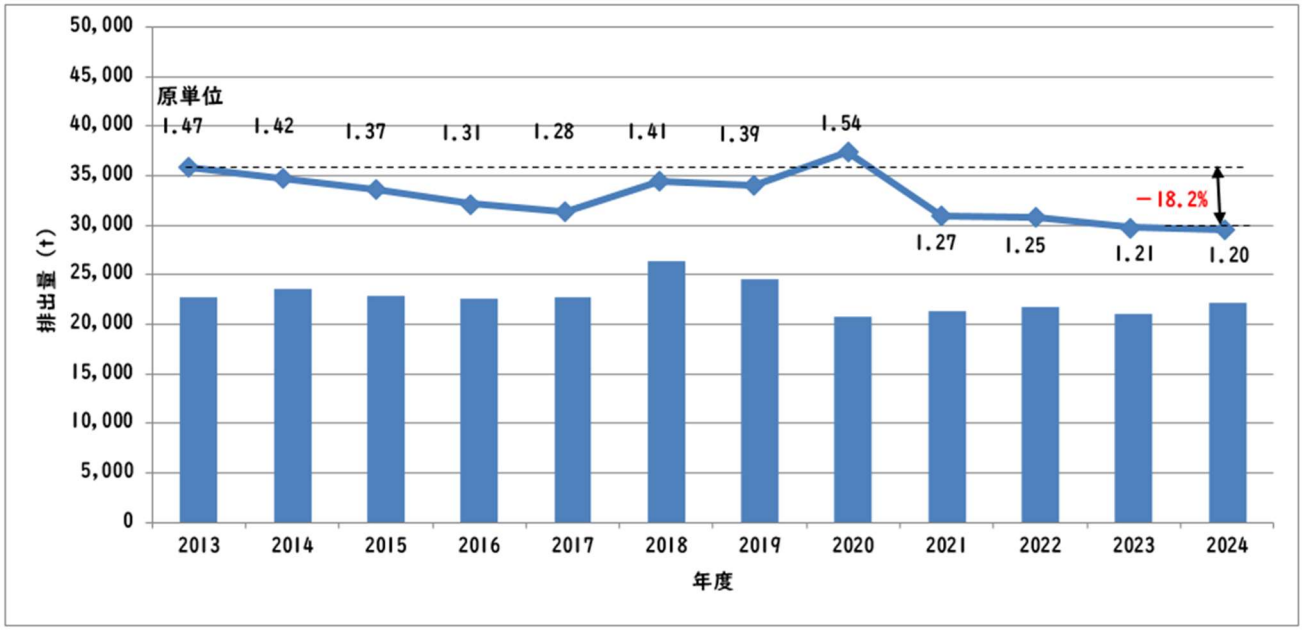
2024 年度の多治見事業所の CO2 排出量は、排出量が 2013 年度比 2.8%減少、原単位が 2013 年度比 18.2%減少の 22,139 トンとなりました。内訳は C 重油（58.4%）と電気（27.2%）の使用による排出が 8 割以上となっています。今後も投入エネルギーの最適化及び抑制、設備の効率向上など、CO2 排出量の削減に取り組み、温室効果ガスの削減を図っていきます。

2013 年度比 CO2 排出量（原単位）増減率（2024 年度）

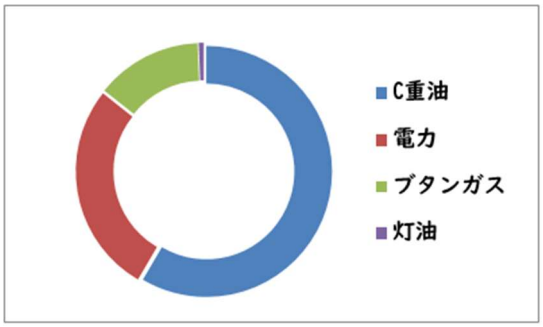
排出量　　原単位

－2.8%（－18.2%）

CO2 排出量（t-CO2）**・原単位推移**（t-CO2/t）



エネルギー別 CO2 排出源（2024 年度）



※多治見事業所での生産活動による排出となります。

●廃棄物排出量削減の取り組み

廃棄物排出量

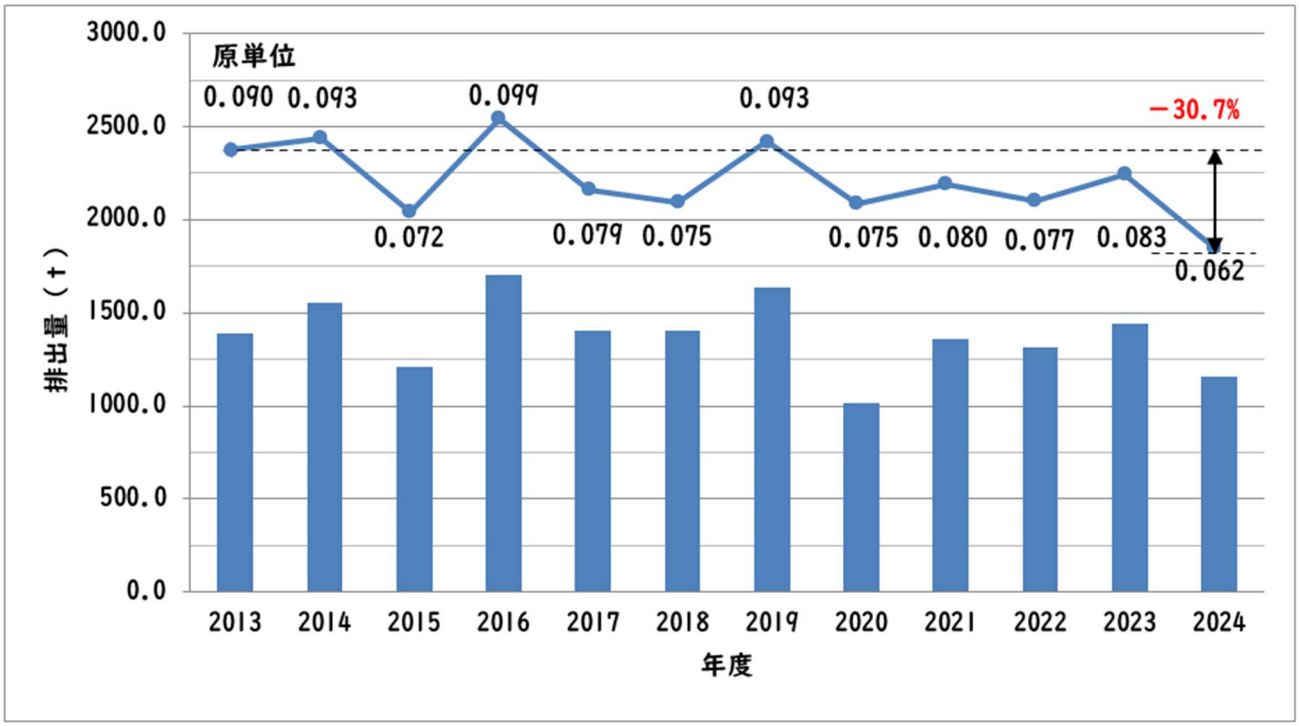
2024 年度の多治見事業所の廃棄物排出量は、排出量が 2013 年度比 17.0%減少、原単位が 2013 年度比 30.7%減少の 1,155.5 トンとなりました。今後も歩留まりの向上やリユース・リサイクルの取り組みを促進し、廃棄物排出量の削減を図っていきます。

2013 年度比廃棄物排出（原単位）増減率（2024 年度）

排出量　　原単位

－17.0%　（－30.7%）

産業廃棄物排出量推移（ｔ）



※多治見事業所での生産活動による排出となります。

●水使用量削減の取り組み

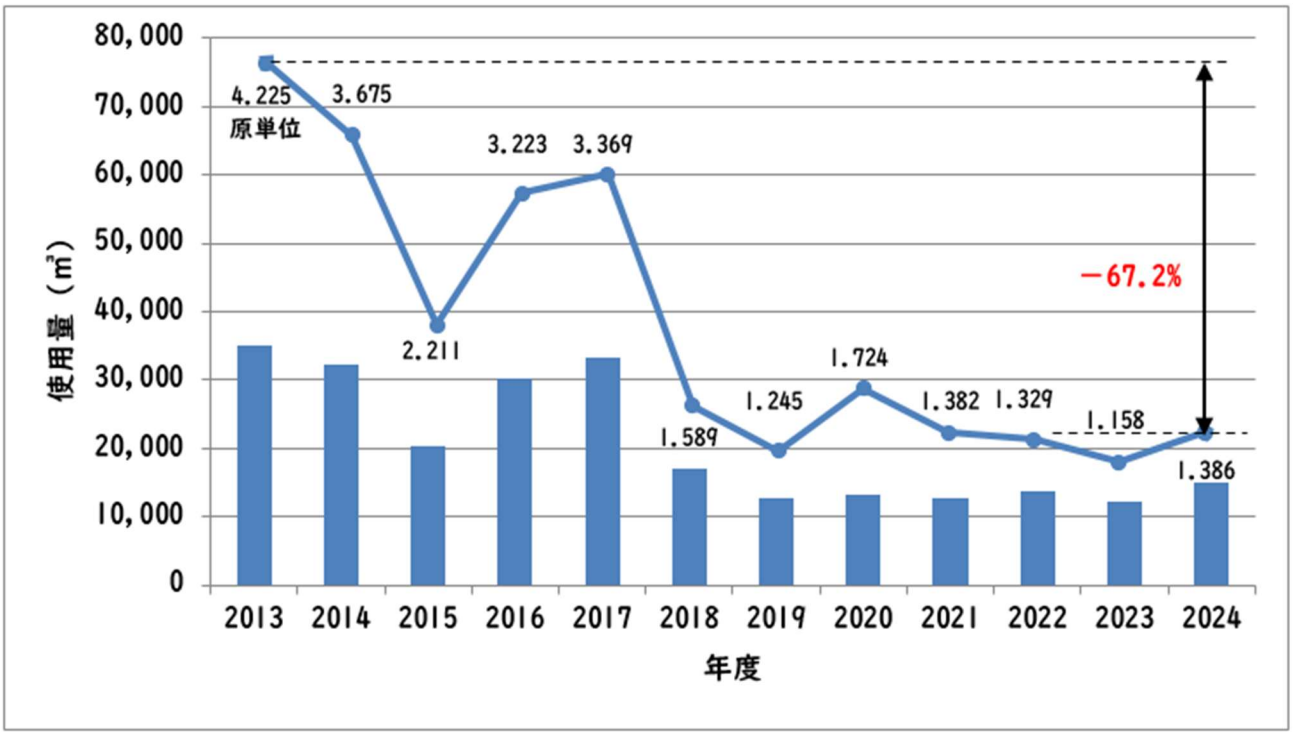
水使用量

2024 年度の水使用量は、使用量が 2013 年度比 57.4%減少、原単位が 2013 年度比 67.2%減少の 14,973 ㎥となりました。今後も節水と環境に優しい排水のため、設備の導入や維持管理の徹底などの取り組みを促進し、水使用量の削減を図っていきます。

2013 年度比水使用量（原単位）増減率（2024 年度）

使用量 **−57.4%**　原単位 **（−67.2%）**

水使用量推移（㎥）



※多治見事業所（大畑工場）での生産活動による使用となります。

環境への配慮（製品づくり）

●環境法令の遵守

以下のとおり、環境法令を遵守しています。

環境法令	遵守状況
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	対象化学物質の把握と、年間の排出量及び移動量を集計、毎年届出を実施しています。
フロン排出抑制法	対象製品の簡易、定期点検を実施し、結果の確認を行っています。
騒音規制法	特定施設の届出を行い、規制値を遵守しています。
振動規制法	特定施設の届出を行い、規制値を遵守しています。
大気汚染防止法	公害防止管理者を選定し、ばい煙など排出規制を遵守しています。
水質汚濁防止法	各排出点での定期的な水質検査を実施し、規制値を遵守しています。
省エネ法	エネルギー管理者を選任し、エネルギー消費量の実績と省エネルギー計画について、毎年報告しています。
毒物及び劇物取締法	法令に従い、薬品保管庫の施錠管理や使用記録の作成など、管理を実施しています。
廃掃法	廃棄物の適正保管と処分、マニュフェストの発行と管理を実施しています。 また、PCBについては、処理が終わっています。
労働安全衛生法	特定化学物質障害予防規則にかかわる化学物質の取扱について、教育、指導を実施しています。
化審法	対象となる化学物質を含有する製品について、SDSの交付やラベルによる表示を行っています。

トピックス

●健康経営の推進

株式会社 TYK では、従業員等の健康増進を重視し、健康管理を経営課題と捉え、その実践によって従業員等の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す健康経営を推進しています。

健康宣言

以下の通り、「TYK グループ健康宣言」を策定し、健康経営を推進しています。

TYK グループ健康宣言

TYK グループは、社是である「仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げる」という思いのもと、健康経営に取り組み、活力ある健全な企業グループとして持続可能性を高め、永続的な進化・発展を目指します。

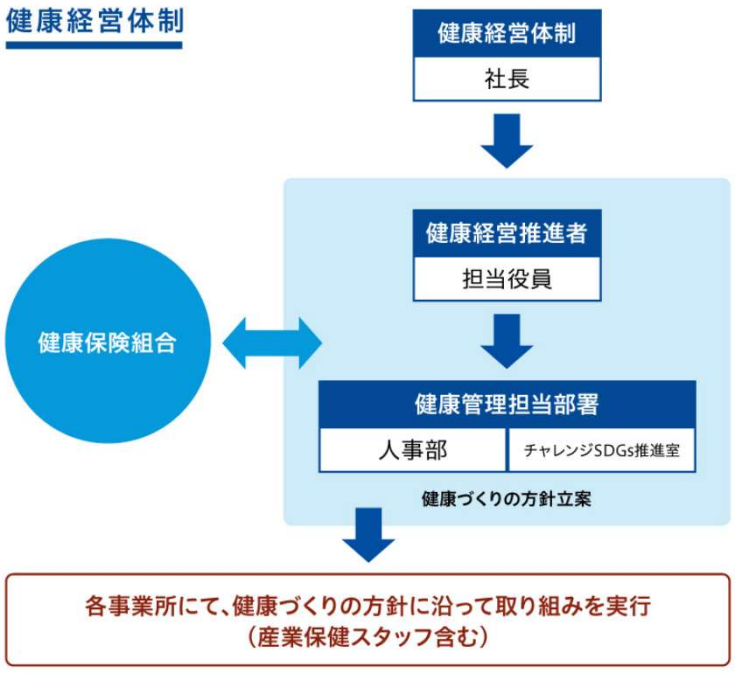
我々が「感謝と挑戦」を抱き、「お客様への誠意と新しい技術への挑戦」というモットーを追求していくためには、役員、社員のみならず、その家族も含めて心身ともに健康で、いきいきと活躍していることは欠かせません。活躍の基礎となる「健康」の維持・増進のため、快適な職場環境の形成、社員の生活習慣の改善、メンタルヘルスケアの充実などの施策を実行・推進し、人も企業も健康であることに努めます。

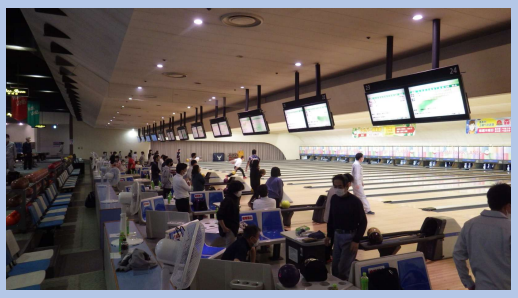
TYK グループはこれからも、「健康」から生み出される大きなエネルギーとたくましい精神力を礎に、社会へ貢献し、皆様と喜びを分かち合える様、健康づくりを推進して参ります。

2020 年 10 月
株式会社 TYK 代表取締役社長
牛込 伸隆

推進体制

健康経営を推進するため、以下の体制で実施しています。





従業員等の運動促進につながる各種イベントを継続的に開催しています。例えば、ボウリング大会は 2024 年に第 71 回となります。

外部機関からの認定

株式会社 TYK は健康経営の取り組みにおいて、以下の認定を受けています。

・経済産業省・日本健康会議「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）」

・協会けんぽ岐阜支部「ぎふ健康経営認定事業所」

健康増進の取り組み

従業員等の意識変化や行動習慣の改善を図るべく、健康増進の取り組みを推進しています。例えば、体を動かす動機付けを目的にウォーキングイベントを実施。月ごとの歩数を集計し、上位者を社内報などで発表のうえ報奨金を支払うことで健康意識の向上を図っています。

検診等への補助

健康維持施策の一環として従業員等の健診に力をいれており、人間ドック費用などの補助制度を設けています。例えば、いわゆる脳卒中の早期発見、予防につながる脳ドックの費用補助制度を実施。継続的に取り組みの強化を図っています。

●地域社会との共生

マラソン大会の主催

子どもから大人まで幅広い層が参加する地域のマラソン大会「東濃ロードレース」を共同主催。敷地の一部を会場として提供しています。

地元自治体とのネーミングライツ

地域貢献の一環として、多治見市のネーミングライツ事業に協力しています。

2025 年度から「感謝と挑戦の TYK 体育館」に加え、多治見運動公園と園内個別施設への協力も決定。

6 月より「TYK スポーツパーク多治見」の愛称使用が開始されます。

※個別施設とは、「TYK 競技場」「TYK 球場」「TYK テニスフィールド」「TYK スケートボードパーク」「TYK グラウンド」「TYK3×3 バスケットコート」の 6 つとなります。

※感謝と挑戦の TYK 体育館（旧「多治見市総合体育館」）

※TYK 競技場（旧「星ケ台競技場」）

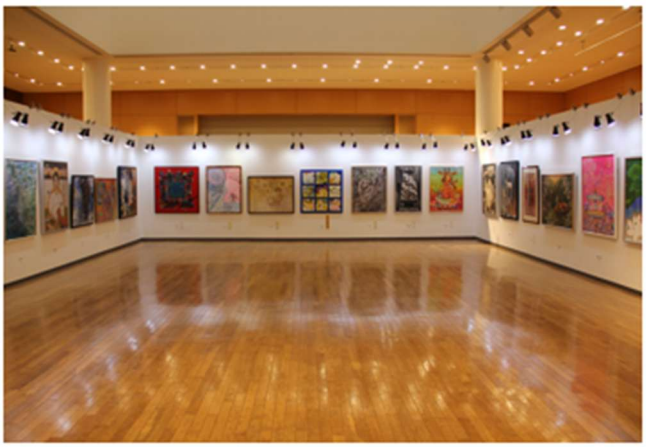
※TYK 球場（旧「多治見市営球場」）

少年サッカー大会の主催

「元気な多治見を僕らの力で」をスローガンとする「TYK 杯争奪少年サッカー大会」を主催しています。

美術展の主催

地域文化高揚への貢献・地元画家の創作活動支援を目的とし地元新進・気鋭画家の登竜門にしたいとの趣旨にて、「TYK 絵画大賞」を実施しています。平成 8 年から取り組み、令和 6 年には第 29 回目を迎えています。



ボランティア清掃活動の実施

地域社会への貢献として、従業員による清掃活動を毎年実施しています。

海外インターンシップへの協力

国際社会に対応できるグローバルな人材を育成するという目的のもと、日本人高校生の海外インターンシップを継続的に開催しています。

また、フランスの大学からの学生受け入れも実施しています。

※TYK-T（台湾）での実施風景

●環境問題への取り組み

乾燥プログラムの最適化による CO2 削減

耐火物の製造時に使用している乾燥炉の運用において、最適なプログラムを使用することにより、CO2 排出量の削減を実現しています。

原料の再利用拡大による循環型社会発展への貢献

耐火物の製造時に発生する加工屑などを、品質管理の新しい手法を導入し、廃棄せずに原料としての再利用を拡大することで、循環型社会の発展に貢献しています。

再生可能エネルギーの導入

気候変動対策の一環として、関係会社の U セラミックに太陽光発電設備を導入しています。

鉄鋼のカーボンニュートラルプロセス開発における貢献

カーボンニュートラル達成のため鉄鋼業界において進められている、水素還元高炉やスメルター、大型電気炉など新しいプロセスの開発において、それらのニーズに求められる耐火物の開発、提案をおこなっています。

アンモニアや水素を燃料とした工業炉の開発

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)の
「グリーンイノベーション基金事業／製造分野における熱プロセスの脱炭素化」プロジェクトに参加し、アンモニアや水素を燃料としたカーボンニュートラル対応工業炉の技術確立と社会実装に向けた開発に取り組んでいます。
当社は、本技術開発を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

充電スタンドの導入

EV（電気自動車）普及に向けて必要となる EV 充電インフラ拡充のため、関係会社のパークレーンズに充電スタンドの導入を予定しています。

事業展開の歩み

1929年　牛込製粉工場設立
1947年　牛込製粉工場と明智耐火煉瓦（株）多治見工場を合併し東京窯業株式会社を設立
1956年　黒鉛ルツボ（MOREX）販売開始
1958年　明智耐火煉瓦（株）（現：明智セラミックス）を系列化
1959年　川瀬耐火煉瓦（株）（現：水野セラミックス）を系列化
1960年　住吉耐火煉瓦（株）および国光窯業（株）（現：U-セラミック）を設立し、系列化
1961年　株式を東京・名古屋証券取引所市場第2部に上場
1963年　東窯運送（株）（現：トーヨー流通サービス）を設立
　　久田窯業（株）（現：水野セラミックス）を設立し、系列化
1967年　工作部門を分離し、豊栄興業（株）を設立
1968年　日ノ丸窯業（株）を系列化
1969年　研究所を設置
1971年　AG質浸透ノズル（ISOTEX）販売開始
　　超高温焼成塩基性レンガ（Super DX）販売開始
1972年　（株）パークレーンズを設立
　　（株）中日ホームを設立
　　ロータリーノズル販売開始
1973年　赤坂工場新設
1974年　東京・名古屋証券取引所市場第1部に昇格
1976年　日本鋼管（株）（現：JFEスチール（株））、ベルレフ社（ベルギー）と3社で合弁会社
　　「ロータリーノズルインターナショナル」を設立
1977年　パリに欧州事務所、シカゴに米国事務所を設置
1978年　給食部門を分離し、東進食品（株）を設立
1981年　デュイスブルグに西独事務所を設置
1982年　米国にTYK Co,Inc.（現：TYK AMERICA,Inc.）を設立
1983年　ロンドンに英国事務所を設置
1988年　台湾にTYK TAIWANを設立
　　東京窯業（株）から株式会社TYKに社名呼称変更
　　英国にTYK LIMITEDを設立
1992年　（株）TYK情報サービスを設立
1995年　TYK Europeを設立
1996年　創立50周年を記念して第1回TYK絵画大賞が始まる
　　TPM優秀賞を受賞
1997年　ISO9001認証取得
1998年　TYK Europeフランス事務所をダンケルクに移転
　　ISO14001認証取得
2001年　VDEh（ドイツ鉄鋼協会）品質マネジメントシステム認証取得
2002年　住吉耐火煉瓦（株）と国光窯業（株）を合併し（株）U-セラミック設立
2003年　タイ・バンコクにタイ事務所を設置

2004年　中国に青島東窯瓷有限公司を設立
　　研究所新館が完成
2005年　TYK品質憲法制定
2013年　インドネシア・スランにインドネシア駐在所を設置
2015年　東京本社移転
2016年　インド・コルカタにインド駐在所を設置
2020年　ベトナム・ハティンにて現地駐在員を雇用、業務を開始
2023年　インドにTYK CERAMICS INDIA PRIVATE LIMITEDを設立

創造性を追求する
株式会社 TYK

本 社
〒108-0075 東京都港区港南2-11-1
TEL 03-6433-2888(代)　FAX 03-5462-8853

本 部
〒507-8607 岐阜県多治見市大畑町3-1
TEL 0572-22-8151(代)　FAX 0572-22-0706

ホームページ
http://www.tyk.co.jp

当社の品質方針に基づいた厳しい完成品検査を受けた製品には、品質の証である「ブルマーク」を貼って出荷しています。